



目 次

FD研修会 「高等教育のDX化に向けて—AL型授業に役立つICTツールの紹介—」	1
講師:経営学科青木麟太郎講師、福祉学科梶原豪人講師、こども学科梅木璃子講師、 こども学科田中宏和准教授	
FD講習会 「実用統計講座」 講師:経営学部経営学科 福井正康教授	2
FDワークショップ 「科研費申請について」	3
講師:健康スポーツ科学科 上村 崇教授	
令和5年度学生による授業アンケート調査結果	4~8
FD関連図書コーナー新着案内	9
令和6年度FD推進委員会活動記録	10

第1回 FD研修会

「高等教育のDX化に向けて—AL型授業に役立つICTツールの紹介—」

講師: 経営学科青木麟太郎講師、福祉学科梶原豪人講師、
こども学科梅木璃子講師、こども学科田中宏和准教授

7月12日（水）に第1回FD研修会を開催しました。テーマは、「高等教育のDX化に向けて—AL型授業に役立つICTツールの紹介—」です。コロナ禍でLearning Management System (LMS)の導入や「ビデオ会議」ツールの利用が進み、コロナが収束したあとも、これらを通常授業形式（対面型）に生かしていく取り組みが各大学で進んでいます。



本学ではコロナ流行以前からセレッソなどのLMSをすでに導入していたこともあり、遠隔授業に比較的スムーズに移行できました。一方、コロナ禍を契機に授業用のICTツールも開発が進んでいることもあり、今回は、4名の先生方に授業における本学のLMS以外のICTツールの利用方法について発表していただきました。

最初に青木麟太郎経営学科講師から、エクセルやTeamsを利用した学生からのフィードバックの方法について発表していただきました。次に、梶原豪人福祉学科講師から、同じくTeamsのメッセージ機能を使ったフィードバック方法とSlidoを利用したクイズや質問の機能について紹介していただきました。続いて、梅木璃子こども学科講師から、QuizletとMentimeterを利用した単語学習や評価投票機能などについて発表していただきました。そして最後に、田中宏和こども学科准教授によって、PDFデータの編集ソフトの授業時における活用方法について発表していただきました。座学の授業において、リアルタイムでの学生からのフィードバックは大きな課題の一つですが、ICTツールの発達により、学生が自分の考えを発表することや質問をするハードルを低くでき、双向型授業（アクティブラーニング）を受講生の人数に左右されずにできる可能性があることがわかり、大変参考になる発表でした。



FD講習会 「実用統計講座」報告

講師：経営学部経営学科 福井正康教授

8月26日（月）～28日（水）の3日間、FD講習会（統計講座）を経営学科の福井正康教授の指導のもとに開催しました。参加者は延べ45人でした。

初日は、「基礎統計」について学びました。質的・量的データの集計と検定方法、相関や回帰分析等についての内容でした。卒論などでも利用できる分析です。2日目は「初級統計分析」についてで、多変量解析について学びました。1元・2元配置の実験計画法、重回帰、因子分析など、アンケートをもとに

した研究などに使われる分析手法です。3日目は「中級統計分析」で、多変量解析の発展系について、質的データの数量化法、多重共線性の意味、判別分析やロジスティック回帰分析の比較、共分散構造分析、探索的因子分析などについて、学びました。



具体的なデータを基に各自でパソコンで分析に挑戦することができ、授業と研究に生かせる研修内容でした。

FD ワークショップ 「科研費申請について」

講師：健康スポーツ科学科 上村 崇教授

9月4日(木)に科研費申請についてのワークショップを開催しました。今回は、台風の影響で本来予定していた開催日から1週間延びての開催となり、当初予定していた多くの方の参加がむづかしくなり、4名の参加となりました。

最初にファシリテーターを務めてくださる健康スポーツ科学科教授の上村崇先生から、大学教員として様々な仕事がある中で、いかに継続的に研究に取り組んでいくかについてのアドバイスがあり、その後参加者各自が準備している申請内容を読みあい、意見を述べ合う時間を持ちました。



令和6年度 学生による授業アンケート調査結果

1. 調査概要

(1) 実施期間

前期:令和6年7月16日(火)～7月28日(日)

後期:令和7年1月9日(木)～1月29日(水)

(2) 対象科目

演習・実習等の科目を除く全科目（履修者数5名未満の科目を除く）

(3) 実施科目数

前期：276科目

後期：263科目

(4) 実施方法

- 学修支援システム・セレッソを用いて、授業時間内に教員の指示に従って、学生が各自スマートフォンなどを通じて回答する。
- アンケート集計結果は、科目毎に科目担当教員に返却。大学全体、学部・学科、学年別の集計結果は、各学部、学科に配布するとともに当F Dニュースレター等で公表する。

(5) 設問

<授業に関する設問>

Q 1-1. この授業の履修の決定や学修する際に、シラバス（授業概要）を読んだ

Q 1-2. シラバス（授業概要）は、この授業の学修に役立った

Q 1-3. シラバス（授業概要）の到達目標を達成できた

Q 2. 受講にあたって、学修到達目標や注意事項などの説明・指導は、適切だった

Q 3. この授業の進度は、適切だった

Q 4. 教員の話し方は、聞き取りやすかった

Q 5. 板書や視聴覚機器は、見やすかった（聞きやすかった）

Q 6. 教員の説明・指導は、わかりやすかった

Q 7. 教室や実習・実技の環境・設備などは、適切だった

Q 8. この授業は、有意義だった

<学生の受講態度に関する設問>

Q 9. この授業にきちんと出席した

Q 10. 受講マナー（遅刻・早退、私語など）は守れた

Q 11. 予習・復習・課題提出など、この授業に熱心に取り組んだ

Q 12. この授業に対する1回あたりの平均勉強時間

(5) 回答方法

5段階評価 5：よくあてはまる

4：ややあてはまる

3：どちらともいえない

2：あまりあてはまらない

1：全くあてはまらない

（Q12.については、5：60分以上、4：60分未満、3：30分未満、

2：15分未満、1：全くしなかった）

(6) その他

科目担当教員の自由設問および自由記述欄あり。

2. 大学全体の結果

(上段：前期 下段：後期)

	5. よくあて はまる	4. ややあ てはまる	3. どちらで もない	2. あまりあ てはまらない	1. 全くあて はまらない	平均値
Q1-1 シラバスを読んだ	45.26%	34.53%	15.11%	3.47%	4.60%	4.18
	49.01%	34.21%	12.24%	2.90%	1.63%	4.26
Q1-2 シラバスが役に立った	45.38%	34.87%	15.84%	2.63%	1.26%	4.20
	50.44%	33.01%	13.89%	1.73%	0.91%	4.30
Q1-3 到達目標を達成した	44.43%	36.10%	16.41%	2.23%	0.81%	4.21
	48.67%	36.04%	12.98%	1.43%	0.85%	4.30
Q2 到達目標・注意事項の説明	55.93%	30.86%	10.79%	1.93%	0.47%	4.39
	59.04%	30.12%	9.13%	1.23%	0.45%	4.46
Q3 授業の進度	60.66%	28.02%	8.84%	1.97%	0.49%	4.46
	63.73%	26.53%	7.75%	1.43%	0.53%	4.51
Q4 教員の話し方	61.22%	26.81%	8.84%	2.45%	0.66%	4.45
	63.76%	25.79%	8.07%	1.60%	0.75%	4.50
Q5 板書・視聴覚機器	59.55%	28.12%	9.67%	2.02%	0.62%	4.43
	62.75%	26.30%	8.86%	1.39%	0.67%	4.49
Q6 教員の説明・指導	59.22%	28.30%	9.13%	2.58%	0.75%	4.42
	62.26%	26.99%	8.34%	1.77%	0.62%	4.48
Q7 教室の環境・設備・機材	61.71%	27.79%	8.71%	1.37%	0.39%	4.49
	63.44%	27.41%	7.84%	0.96%	0.33%	4.52
Q8 授業は有意義だった	60.81%	28.20%	8.64%	1.74%	0.59%	4.46
	63.29%	26.80%	8.02%	1.21%	0.65%	4.50
Q9 出席状況	74.20%	20.59%	4.15%	0.81%	0.22%	4.67
	73.17%	21.09%	4.75%	0.84%	0.13%	4.66
Q10 受講マナー	73.35%	21.06%	4.49%	0.93%	0.15%	4.39
	73.91%	20.68%	4.41%	0.79%	0.18%	4.46
Q11 授業への取り組み	58.69%	27.29%	10.44%	2.37%	1.18%	4.66
	62.18%	26.06%	8.75%	2.10%	0.89%	4.67
Q12 平均勉強時間※	26.51%	23.56%	21.79%	14.38%	13.73%	3.34
	26.33%	23.08%	22.13%	15.19%	13.25%	3.34

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

3. 学年別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	1年	2年	3年	4年
Q1-1 シラバスを読んだ	4.18	4.17	4.19	4.17
	4.29	4.20	4.27	4.41
Q1-2 シラバスが役に立った	4.20	4.17	4.22	4.25
	4.32	4.24	4.38	4.49
Q1-3 到達目標を達成した	4.17	4.20	4.26	4.21
	4.32	4.25	4.32	4.46
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.40	4.36	4.42	4.46
	4.49	4.40	4.49	4.62
Q3 授業の進度	4.48	4.41	4.48	4.47
	4.55	4.44	4.54	4.72
Q4 教員の話し方	4.46	4.41	4.49	4.45
	4.55	4.43	4.49	4.63
Q5 板書・視聴覚機器	4.43	4.40	4.49	4.46
	4.52	4.44	4.50	4.58
Q6 教員の説明・指導	4.44	4.37	4.46	4.50
	4.54	4.40	4.47	4.62
Q7 教室の環境・設備・機材	4.49	4.45	4.52	4.25
	4.55	4.48	4.52	4.62
Q8 授業は有意義だった	4.44	4.43	4.55	4.51
	4.54	4.45	4.50	4.68
Q9 出席状況	4.71	4.66	4.66	4.52
	4.68	4.68	4.53	4.52
Q10 受講マナー	4.33	4.41	4.49	4.33
	4.42	4.53	4.35	4.51
Q11 授業への取り組み	4.65	4.66	4.67	4.67
	4.66	4.70	4.57	4.74
Q12 平均勉強時間	3.07	3.39	3.72	3.31
	3.22	3.50	3.18	3.75

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

4. 学科別の平均値

(上段：前期、下段：後期)

	経営	福祉	こども	健康スポーツ	看護
Q1-1 シラバスを読んだ	4.12	4.28	4.13	4.11	4.26
	4.33	4.37	4.18	4.20	4.29
Q1-2 シラバスが役に立った	4.14	4.32	4.15	4.14	4.26
	4.29	4.45	4.29	4.24	4.33
Q1-3 到達目標を達成した	4.08	4.28	4.21	4.14	4.28
	4.27	4.40	4.31	4.22	4.36
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.30	4.52	4.44	4.29	4.46
	4.37	4.65	4.56	4.36	4.47
Q3 授業の進度	4.35	4.58	4.51	4.37	4.51
	4.42	4.66	4.61	4.44	4.52
Q4 教員の話し方	4.28	4.62	4.51	4.36	4.50
	4.44	4.64	4.59	4.44	4.48
Q5 板書・視聴覚機器	4.29	4.60	4.49	4.34	4.49
	4.41	4.62	4.59	4.41	4.49
Q6 教員の説明・指導	4.25	4.60	4.46	4.34	4.48
	4.39	4.62	4.58	4.43	4.47
Q7 教室の環境・設備・機材	4.33	4.62	4.55	4.40	4.54
	4.45	4.62	4.63	4.45	4.54
Q8 授業は有意義だった	4.28	4.57	4.52	4.39	4.54
	4.41	4.62	4.62	4.43	4.52
Q9 出席状況	4.41	4.72	4.78	4.55	4.81
	4.40	4.65	4.78	4.54	4.84
Q10 受講マナー	4.03	4.45	4.54	4.28	4.54
	4.14	4.45	4.64	4.39	4.59
Q11 授業への取り組み	4.48	4.71	4.73	4.56	4.77
	4.51	4.72	4.74	4.55	4.82
Q12 平均勉強時間	2.90	3.18	3.24	3.24	3.74
	3.00	3.35	3.40	3.14	3.68

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

5. 最近3年間の平均値の推移

	R4年度		R5年度		R6年度	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
Q1-1 シラバスを読んだ	4.05	4.22	4.11	4.23	4.18	4.26
Q1-2 シラバスが役に立った	4.08	4.22	4.13	4.25	4.20	4.30
Q1-3 到達目標を達成した	4.08	4.21	4.15	4.25	4.21	4.30
Q2 到達目標・注意事項の説明	4.32	4.43	4.35	4.41	4.39	4.46
Q3 授業の進度	4.40	4.50	4.43	4.47	4.46	4.51
Q4 教員の話し方	4.38	4.51	4.40	4.46	4.45	4.50
Q5 板書・視聴覚機器	4.35	4.49	4.41	4.47	4.43	4.49
Q6 教員の説明・指導	4.36	4.48	4.38	4.45	4.42	4.48
Q7 教室の環境・設備・機材	4.41	4.52	4.46	4.51	4.49	4.52
Q8 授業は有意義だった	4.43	4.53	4.43	4.49	4.46	4.50
Q9 出席状況	4.67	4.61	4.69	4.66	4.67	4.66
Q10 受講マナー	4.67	4.63	4.68	4.66	4.39	4.46
Q11 授業への取り組み	4.39	4.43	4.41	4.43	4.66	4.67
Q12 平均勉強時間※	3.43	3.43	3.36	3.43	3.34	3.34

※Q12 5(60分以上)、4(60分未満)、3(30分未満)、2(15分未満)、1(まったくしなかった)

本学の授業アンケートは、5名以上の受講者がいるすべての科目を対象に実施しています。本年度の実施対象の総科目数は前期が276科目、後期は263科目でした。受講生の総数は、前期が10,809名、後期が9,357名で、回答率は前期が約72%、後期は約66%で、昨年度とほぼ変わらない回答率でした。本学のLMSであるセレッソや他のICTツールを活用した双方向型授業やアクティブラーニングを取り入れた授業が増えてきました。

FD関連図書コーナー新着案内

本学図書館1階の参考図書架に設置されている「FD関連図書コーナー」では、毎年多数発刊される国内のFD関連図書の中から、特に有用なものを選定・購入し、蔵書を充実させています。

新たに購入した図書の主なものは、次の通りです。自由に閲覧、貸し出しができますので、多数の方のご利用をお待ちしております。

書名	著者名	出版社
授業方法の基礎（看護教育実践シリーズ）	中井俊樹	医学書院
授業設計と教育評価（看護教育実践シリーズ）	中井俊樹	医学書院
アクティブラーニングの活用（看護教育実践シリーズ）	小林忠資	医学書院
問題と解説で学ぶ教育設計力トレーニング	佐藤浩章	医学書院
13の実践レシピで解説！ 看護を教える人が発問と応答のスキルを磨く本	内藤知佐子	医学書院
産学連携における大学初年次キャリア教育	新居田久美子	エピック
観光まちづくりの展望 地域を見つめ、地域を動かす	西村幸夫他	学芸出版社
東洋経済 ACADEMIC 次代の教育・研究モデル特集 Vol. 3: DX・AI の深化「新しいサイエンス」の可能性に迫る	東洋経済新聞社	東洋経済新聞社
大学のデジタル変革—DXによる教育の未来	井上雅裕他	東京電機大学出版局
「未来の学び」をデザインする 新版：空間・活動・共同体	美馬ゆかり他	東京大学出版会
大学教育の国際化	中井俊樹他	玉川大学出版部
替えがきかない人材になるための専門性の身につけかた	国分峰樹	フォレスト出版
大学FD入門：教育改善に取り組む人の必携ガイド	中井俊樹他	ナカニシヤ出版
ディープ・アクティブラーニングのはじめ方	山川修他	春風社
現場の大学論—大学教育を超えて未来を拓くために	崎山直樹他	ナカニシヤ出版

令和6年度 FD 推進委員会 活動記録

令和6年 5月10日	第1回委員会 議題 1) 令和5年度活動報告 2) 令和6年度活動予定 3) その他
7月12日	第1回 FD研修会 「高等教育のDX化に向けて」 講師：経営学科講師青木鱗太郎氏、福祉学科講師梶原豪人氏、 こども学科講師梅木璃子氏、こども学科准教授田中宏和准氏
7月16日～ 7月28日	学生による授業アンケート調査（前期）
8月26日～ 8月28日	FD講習会 「実用統計講座」 講師：経営学部経営学科教授 福井 正康氏
9月4日	FDワークショップ 「科研費申請書作成について」 講師：福祉健康学部健康スポーツ科学科教授 上村 崇氏
9月10日	第2回委員会 議題 1) 前期授業アンケート調査結果の報告 2) その他
令和7年 1月16日～ 1月30日	学生による授業アンケート調査（後期）
3月5日	第3回委員会 議題 1) 後期授業アンケート調査結果の報告 2) その他
3月31日	FDニュースレター第21号発行

編集後記

FDニュースレター第21号をお届けいたします。今年度もFD関連の活動はほぼ予定通り、開催することができました。FD講習会、ワークショップ、FD研修会など、ご協力いただいた教職員各位に厚く御礼申し上げます。研修会では、高等教育のDX化というテーマで、授業ですでにICTツールを活用している先生方にその利用方法などを紹介していただきました。DX関連として残されたテーマは、生成AIの活用です。すでに高校では積極的に生成AIを活用した授業が展開されているようです。数年後には大学に入学てくる学生にとって生成AIを授業で使うのが当たり前になるという状況が予想されます。本委員会も積極的に生成AIなどDX関連をテーマにした研修を計画したいと考えております。最後になりましたが、皆様方の本年度のFD活動へのご協力に感謝申し上げます。（KW）